

南太平洋 (1958)

SOUTH PACIFIC

メディア 映画
ジャンル ミュージカル
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 150分
初公開日 1959/11/01
公開情報 FOX
1961/04 [FOX]
リバイバル 1972/06 [NCC]
1975/07 [富士]

【キャッチコピー】

主題曲〈魅惑の宵〉〈バリ・ハイ〉が シネラマの大画面に 甦る不滅のロマンス！（リバイバル時）

ブロードウェイ最大のヒット・ミュージカル！今、ここに甦る！！

遙かなるロマンの島 〈バリ・ハイ〉 美しきあの娘は 今何処にー やっとめぐり逢った 素敵な彼 もう二度とはなさないで… 《魅惑の宵》よ永遠に

「王様と私」「サウンド・オブ・ミュージック」とならぶロジャース&ハマースタインの最高傑作！（リバイバル時）

【解説】

ロジャース&ハマースタインの大ヒット・ミュージカルの、舞台版の演出も手がけたJ・ローガンによるいささか大味な映画化作品。南太平洋のある島に海兵隊と共にやって来た従軍看護婦のネリー（M・ゲイナー）はフランス人植民者エミール（R・ブラッツィ）と出会い恋に落ちるが、彼が以前、原住民の女性と結婚し、子供も二人あることを知って戸惑う。しかし、時あたかも太平洋戦争の最中、危険を賭して軍の任務を遂行した彼に、ネリーは真実の愛を確認、二人は結ばれるーという安直なストーリーで、脇筋のJ・カー演じる米軍中尉ケーブルと島の娘ライアット（F・ニューイエン）が結ばれる話の方が愛らしくて感情移入できた。その娘の母メリーがいわば陰の主役で、舞台でも同じ役を演じたA・ホールが素晴らしい喉を披露し、有名な『バリ・ハイ』を朗々と、そして島の子供たちと陽気な『ハッピー・トーク』を嬉々として唄うシーンが全篇の白眉。その他佳曲には恵まれた作品ではあり、何より華麗なロケ撮影が魅力。

【クレジット】

監督	ジョシュア・ローガン	Joshua Logan
製作	バディ・アドラー	Buddy Adler
原作	ジェームズ・A・ミッチェナー	James A. Michener
脚本	ポール・オズボーン	Paul Osborn
撮影	レオン・シャムロイ	Leon Shamroy
音楽監督	アルフレッド・ニューマン	Alfred Newman
	ケン・ダービー	Ken Darby
音楽	リチャード・ロジャース	Richard Rodgers
	オスカー・ハマースタイン二世	Oscar Hammerstein II
出演	ミッツィ・ゲイナー	Mitzi Gaynor
	ロッサノ・ブラッツィ	Rossano Brazzi

ジョン・カー	John Kerr
ファニタ・ホール	Juanita Hall
フランス・ニューエン	France Nuyen
ロン・エリー	Ron Ely